

上北地域県民局地域農林水産部 十和田家畜保健衛生所
上十三地区家畜衛生推進協議会
(一社)青森県畜産協会

0176-23-6235 (FAX 0176-23-3044)
0176-25-2362 (FAX 0176-24-3888)
017-722-4331 (FAX 017-731-1196)



夏季休暇期間における家畜伝染病の防疫 対策を徹底しましょう！

本年7月、兵庫県で国内87例目の豚熱(CSF)が発生し、宮城県及び岩手県でも野生イノシシの豚熱感染が確認されています。また、2月にシンガポールで初めてアフリカ豚熱(ASF)の発生が確認され、5月に韓国で4年ぶりとなる口蹄疫(FMD)の発生が確認されています。近隣アジアやヨーロッパ各地で家畜伝染病の発生が続いており、日本への侵入リスクは依然として高い状況です。

これから夏季休暇を迎えるにあたり、畜産関係者は以下の防疫対策を徹底してください。

農場を守るために

① 海外渡航の自粛・肉製品の国内への持ち込み禁止

② 病原体の持ち込みの防止

- ・必要のない者を衛生管理区域や畜舎に立ち入らせない。(看板の設置等)
- ・不要な物を持ち込まない
- ・衛生管理区域もしくは畜舎に立ち入る場合、又は物を持ち込む場合には、手指の消毒、専用の作業着と靴の着用、物品の消毒等を行う
- ・消毒薬の適切な濃度での使用と定期的な交換
- ・野生動物の侵入防止対策の徹底(防護柵・防鳥ネットの設置、周辺の除草など)

③ 毎日の健康観察

④ 異状の早期発見・早期通報

裏面もあります

飼養している家畜に異状が見られた場合には、直ちに獣医師、または家畜保健衛生所にご連絡ください。

十和田家畜保健衛生所

電話 0176-23-6235(平日) 携帯 090-6453-7023(休日・夜間)

ホームページ

十和田家畜保健衛生所

検索

豚熱・アフリカ豚熱

豚熱は特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です。異常（発熱、食欲不振、元気消失、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸器障害等）を発見したら直ちに通報しましょう。

重症例は神経症状（後躯麻痺・運動失調・四肢の激しい痙攣）
下出血による紫斑（耳翼・尾・腹部・内股部）を呈し死亡。

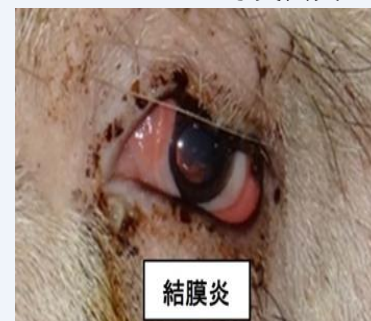
写真出典：岐阜県



耳翼の紫斑



元気がない



結膜炎

アフリカ豚熱は病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。

甚急性では突然死亡、急性では発熱（40~42℃）、皮下出血、粘血便、耳翼の紅斑（チアノーゼ）等を呈し、死亡率は100%に近い。

写真出典：国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門



チアノーゼ



肛門からの出血

口蹄疫

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に泡状のよだれを流したり、口、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）ができるのが特徴です。

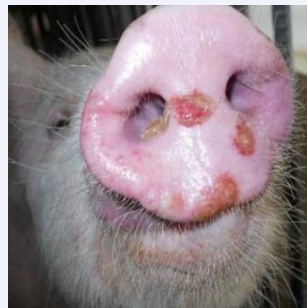
写真出典：宮崎県



蹄球部皮膚の
びらん、潰瘍



鼻端の水疱



鼻平面の潰瘍



乳房、乳頭の水疱
びらん、痂皮